



おむすびころりんに関する歴史的考察についての研究計画

三浦, 一乃

(Citation)

課題研究優秀ポスター, 2026:2

(Issue Date)

2026

(Resource Type)

conference poster

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100504971>



おむすびころりんに関する 歴史的考察についての研究計画

16回生 3135 三浦一乃

問いとその背景

- 「おむすびころりん」の類話が、7世紀の中国が初出という話を聞き興味を持つ
- 前回の研究では「おむすびころりん」のルーツや各地に伝わるその類話について調べた
 - 全国的に流布していて古い物語とされているが、近代以前には文献的に遡ることができない。実はあまり素性がわかっていない物語だった
 - どの話も「良い登場人物」と「悪い登場人物」が存在した
 - 兄弟葛藤譚や継子話、隣の爺譚といった形式をとることが多い
 - どの地域でも落とすのはほとんど主食、食べ物をきっかけに異界に行く
 - 日本は「強欲な人物」、ヨーロッパは「怠惰な人物」がひどい目にあうことが多い

RQ

- 人々の生活の変化と昔話にはどのような関係があるのか

人々の生活の変化と昔話にはどのような関係があるのか

仮説

- 生活様式の変化によって、物語は形を変えている

仮説の検証

文献	作者	概要
だんごをなくしたおばあさん	小泉八雲	「おむすびころりん」の類話。絵本。確認できる最古の「おむすびころりん」の一種。1902年(明治35年)出版
日本昔話集	柳田國男	「団子浄土」が掲載。1930年(昭和5年)出版
おにぎりの文化史	横浜市歴史博物館監修	文献などを利用しておにぎりの歴史についてひも解く。2019年(平成31年)出版

展望と課題

- 文献を読み、それぞれを比較する
- 年代ごとの変化を民衆の生活の歴史にあてはめ、それぞれの関係性について考察する
- 「おむすびころりん」とその類話について、地域差や口伝であることに着目した調査をする
- 「おむすびころりん」に限らず、昔話そのものの変化についても考察していく

文献

- (1)斧原孝守(2003).『チベットのおむすびころりん』 https://ko-sho.org/download/K_026/SFNRJ_K_026-07.pdf
- (2)今村与志雄 [訳注]. (1981). 『酉陽雜俎』. 巻4. 平凡社
- (3)大石真 他(2004).『日本の昔話 5分間読み聞かせ名作百科』. 学習研究社. p.24~27